

Um fresco Verão - Eu Quero Oferecer a Minha Música para Você

GAETANO VELOSO



CAETANO VELOSO

J A P A N □ T O U R

カエターノ・ヴェローゾ初来日公演

8/2[木] 大阪花の万博
国際陳列館イベント・
ホール ■ 開演 □ 19:00
■ 主催 □ 国際陳列館

8/4[土] 大阪 I M P ホ
ール ■ 開演 □ 19:00 ■
主催 □ F M 大阪 ■ 制作
□ スタックオリエンテ
ーション □ H. I. P. 大阪

8/7[火] 8[水] 東京日本
青年館 ■ 開演 □ 19:00
■ 主催 □ ハイライフ・
インターナショナル
[企画 ■ 制作]
ハイライフ・インター
ナショナル





Biografia



昔の故郷から

CAETANO PROFILE

カエターノ・ヴェローゾは1942年8月7日、ブラジル文化の故郷であるバイアー州のサント・アマロという町に生まれた。17歳の時、ジョアン・ジルベルトのボサ・ノヴァを聴いてショックを受け、サルヴァドールの大学で同級生のジルベルト・ジルと知り合い意気投合。ジル、ガル・コスタ、そして妹のマリア・ベターニアらと組んで音楽活動を始めた。その後サンパウロに進出。67年の音楽祭で自作の「アレグリア・アレグリア」が人気し、新世代の音楽家として注目を集める。

当時はビートルズに代表される英米のロックがブラジルの若者の心をとらえた時期だった。カエターノはジルと共にブラジルの伝統的な音楽にロックなどの外来音楽の要素を取り入れた「トロピカリズム」という運動を起し、音楽のスタイルだけでなく、メッセージ性の強い歌詞やファッションなども含めてブラジルの文化に新風を吹き込んだ。当然、若者からは熱狂的な支持を集めたが、当時のブラジル軍事政府は脅威をおぼえ、歌詞の検閲という制度を振りかざして活動を妨害したばかりか、遂には「反社会的な存在」としてカエターノを逮捕するという暴挙に出た。その結果、カエターノはジルと共に69年から72年まで、半ば亡命のような形で国外に脱出し、ロンドンで生活する。

こうしてトロピカリズム運動に終止符が打たれたが、カエターノは72年に帰国してのちも現在に至るまで、コンセプチュアルなアル

- A - Santo Amaro 1942
- B - Santo Amaro 1945
- C - Rio 1963, Moreno
- D - Rio 1975
- E - Rio 1980, Tom Jobim, Nara Leão
- F - Rio 1985, Maria Bethânia
- G - Londres 1969, Gilberto Gil
- H - São Paulo 1968
- I - Paula Lavigne
- J - Estados Unidos 1986, Mick Jagger
- K - Rio 1989, Milton Nascimento, Chico Buarque

バムやコンサート活動を通じてつねに新しい音楽のあり方を求め続け、後輩の音楽家としてブラジルの若者に限らない影響を与えているオビニオン・リーダーだ。ニューヨークやヨーロッパ各国での人気も高い。

カエターノの音楽の魅力を言葉で表現するのは、とてもむづかしい。歌えてたとえるなら、それはあらゆるものを飲み込んで休むことなく活動を続ける巨大な寶窟、と言えるだろうか。そして何よりも、カエターノは天性の詩人である。彼の詩は哲学的で示唆に富んでいるだけでなく、言葉の響きの美しさに満ちている。「美とは標準的なものである」という格言は、カエターノのために用意されたものではないかと思えるほどだ。

そうしたカエターノの神秘的で透き通らない魅力のすべてが、最近のアルバム『フェラ・フェリダ』『エストランジェイロ』の中にある。特に、カエターノの親友でもあるアート・リンゼイがパートナーのビーター・シェラーとプロデュースした『エストランジェイロ』は、カエターノの尖鋭性と抒情性を余すことなく伝える極上の「ポップ・アルバム」だ。キャリア20年以上の大ベテラン、カエターノだが、掛け値なしに今が絶頂期。この5月、リオで1ヶ月にわたって行なわれた『エストランジェイロ』のショーも大評判を呼んだ。そして、待ちに待った初来日。東京公演の初日にあたる8月7日、永遠の青年カエターノは48歳の誕生日を迎える。

(中原仁)



牙肉のダンスや音楽が聞かされてくる



カエターノの声は甘く、優しいだ。
本来、私は甘く優しい声というのはそれほど好きではないのだが、カエターノの声は別だった。彼の声はただ甘いというだけでは言い表わせない。その奥には非常に微かな感触がある。とても暑かった昼間のあとにやって来る気持の良い夜の手触りがするのである。リオ・デジャネイロは昼も夜もそして早朝さえも蒸し暑かったが、バイーアは日中は日差がきつなくても日が落ちると気持が良くて、みんな外に出てくつろいでいた。彼の音楽はそんなバイーアの夏の夕べのようだ。昼間の暑さがきつかった分だけ、その優しさが嬉しい。彼の音を聞くたびに私は心の中に“夜はやさし”という言葉が浮かんでくる。

私が最初に聞いたのは『カエターノ』からだったが、聞いた瞬間からカエターノの声が大好きになり、あとは順序もめちゃくちゃに彼のCDを集めていった。東京になれば、N・Yで買い、N・Yになればサン・パウロで買った。しかし、リアルタイムで手に入れたのは『エストランジェイロ』だけという新参ファンである。なんとなく悔しい。そのかわり、それほど待たずしてカエターノの来日があるというのは、もしかしたら幸せなのかもしれない。

きっとみんな首を長くしてカエターノが日本にやって来るのを待っていたにちがいないから。

マンガ家・玖保キリコ



BRASILという国は、じつに愛すべき国で、何処を何度訪れても新鮮な感動を覚えるのだが、中でもバイーアの州都サルヴァドールは、五感のすべてをしっかりと覚醒させてくれる、素晴らしい街だ。この街は、混血の国ブラジルでも人なつこい黒人の人口が圧倒的に多く、AFROの風情がいっぱいに広がっている。八年前だったが、このカルナヴァルを取材した時のこと、カストロ・アルヴィス広場に特設パールのいくつかがあって、その一軒に毎年カエターノが現れるという話を聞いて、毎日通いつめたことがある。結局カエターノは現れなかったのだが、あの街の人々にとっては、カエターノがそのパールの何気なく座っている姿を想像しながらカルナヴァルを迎えるのが「良」のらしい。

今年の五月、リオのカネコン劇場で彼の最新のショー『エストランジェイロ』を観た。ステージでのカエターノを観るかぎり、あのバイーアの風景というよりは、NYとかロンドンといった都会のイメージが浮かぶほど洗練された存在だった。実際、カエターノはNYのカネネギー・ホールでの公演も数回成功させていて、本誌通信員から「普通、ラテンのコンサートというラテン系の客がほとんどで、ニューヨークあたりに本場に支持されるアーティストというのはいくつかだけ、カエターノの場合は完全に一般のニューヨークあたりに受けていた。すごいショーだ」と興奮気味に連絡を受けたこともあった。ただ、今度の『エストランジェイロ』のショーの中でも弾き語りの部分まで聴き進むと、音楽的、絵画的、風刺たっぷりのバイーアの人間性、風景が急激に顔を出してくる。そして、やっぱり彼の魅力は、洗練の裏側に潜められているバイーア性にあるということ、そしてそれが逆にユニヴァーサルな部分であることに気付かされることになる。

今度のカエターノの日本公演は、ミルトンやジルの公演と同様、最も重要なもののひとつだ。しかも、カエターノのMPBのアーティストたちへの影響力は絶大である。九十年代のMPBの方向性を暗示させてくれるという意味では、その中でも一番重要なショーになるかもしれない。

ライター・編集長・木田健治

Alegria, alegria a admiração

“ベレーザ・カエターノ”

ポルトガル語で詩のことをPoemaという。その他に詩とか詩の一行を意味すると思われるVersoというのがあって、なんだかVelosoに似ている。カエターノの詩はとでも難解だ。でも、少しでも彼の詩を理解したくて国内盤の和訳を見たり、辞書を片手にポルトガル語の歌詞カードをたどりながら聞くのも、理解とはほど遠いけれど楽しい。77年の『BICHO』真白いジャケットの真ん中に抽象的な蝶の絵。BICHO、動物とか虫という意味。ある日、蝶の羽の紋様が太陽と月になっている事に気づく。カエターノの詩には連なる言葉をくり返すリズムを持った言葉遊びが多く、一つの言葉を軸に、次にくる言葉を変えて、様々な意味に変化させる。85年の『uns』では、アルバムタイトルの文字をuという一文字を4つ組み合わせるunsという言葉を作っていて、歌詞カードの裏にはunsで始まる38の言葉がずらり並んでいたりする。一つ一つの歌詞の意味を理解するのは、僕には無理だけど、一枚一枚のジャケット作りのコンセプトとか、曲のタイトルや理解できる程度の暗号のようなものをたよりに彼の歌を聞いている。どのアルバムもそれぞれいいけれど、特に好きなのは85年にニューヨークで録音された『カエターノ・ヴェローゾ』と86年のライブ盤『トータウメンテ・デ・マイス』どちらもほとんどギター一本で淡々と弾き語るのだけれど、今までのアルバムの中にも必ず一曲ぐらいギター一本とか、ピアノとカエターノだけというようなシンプルな曲が入っていて、そういう曲のメロディーは本当に美しいと思う。そんな曲ばかり集めて一本のテープを作った。天気の良い休日の午後、長椅子に一人で座わり、風にゆれる木の葉をながめながら聞いていると、いつのまにか、体はうとうとしはじめるのに、耳の中ではいつまでもカエターノの歌声が、やわらかくゆれているのです。

イラストレーター・沢田としき

“セレクトッド”カエターノ

今年1月、3度目のブラジルでやっと僕はサルバドールに行く事ができた。古い街並はノスタルジックな中にも、ただそこに居るだけで楽しくなる音とおいしいにおいが漂っている。そして太陽と海。個人的にはリオやサンパウロよりも好きだ。Saudade。ひんなことからジルベルト・ジル邸を訪ねる事になり、帰りに寄ったレストランで偶然カエターノにも会った。何と、2人共今、日本。

彼は国民的大スターで、その影響力は文化の枠を超えている。メロディーも声も他に比べるものがないのだけど、それにも増して詩が素晴らしい。例えば、女の娘を口説く時にこれほどまでに知性、教養、哲学と共に優しさあふれる言葉を並べる手はない。アート(LINDSAY)が、(音楽面以外にも)夢中になるのがわかる気がする。そして友人のマティナス(SUZUKI-SENSEI)、アート等の勧めと共に僕がポルトガル語に興味を持って勉強しようと思ったのは、実はカエターノのレコードが、すべての始まりだった。ちなみに僕が最初に覚えたセンテンスは、“Vamos Pedir a Saideira”これは歌には出てこない。

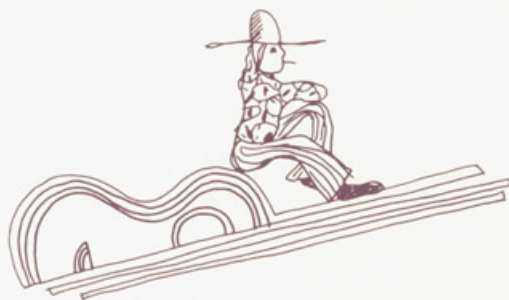
ミーハー的ファンになってしまうと、レコード(CD)を集めているだけでは飽き足らずに自分でコンビネーションを作る事になる。

次に並べた作品は、日本でも発売された最新の2枚よりも以前、78-84年頃からのセクション。これさえあれば、エモーショナルなラテンの国への教科書としては充分でしょう。

レコード・プロデューサー 小野誠彦

- 1) VOCÊ É LINDA Caetano Veloso
- 2) TEMPO DE ESTIO Caetano Veloso
- 3) SAMPÁ Caetano Veloso
- 4) QUEIXA Caetano Veloso
- 5) SURPRESA João Donato-Caetano Veloso
- 6) UM CANTO DE AFOXÉ PARA O BLOCO DO ILÊ
Caetano Veloso - Moreno Veloso
- 7) SONHOS Peninha
- 8) PULSAR Caetano Veloso - Augusto de Campos
- 9) LÍNGUA Caetano Veloso
- 10) LUA E ESTRELA Vinicius Cantuária
- 11) TERRA Caetano Veloso
- 12) O HOMEM VELHO Caetano Veloso
- 13) EU TE AMO Caetano Veloso

Discografia



カエターノ・ヴェローゾのアルバム・ジャケットは、彼の軌跡・心の変遷をあざやかに映しだしているだけでなく、当時の世相をもじつに見事に反映していて興味ぶかい。ことにトロピカリズムの運動をジルベルト・ジルらとすすめていた'67~'68年頃のいわゆるヒッピー・スタイルの彼の姿は、保守的なブラジル社会の反感をかう一方で、若者たちの共感をよぶと共に彼らの価値観までも変えた。そのため危険人物視され、'69年にイギリスへ半ば亡命することにもなったのだが、権力に屈しなかった彼やジルの生きかたがブラジルの心ある人にどれほど勇気づけたことか。

'72年に帰国。音楽的にはむしろ、それからのほうが充実してくるのだが、'75年の"Jóia"や"Qualquer Coisa"はいまなお彼の代表的名盤である。それと、ジャケットは格別こってはいないが、'85年にノンサッチに吹き込んだ"Caetano Veloso"は味わいつきないギターの弾き語りをきかせて秀逸の名盤である。

竹村 淳



■DOMINGO (Polygram, 1967)

A1 ■ Coração vagabundo 2 ■ Onde eu nasci passa um rio 3 ■ Avarandado 4 ■ Um dia 5 ■ Domingo 6 ■ Nenhuma dor B1 ■ Candeias 2 ■ Remelexo 3 ■ Minha Senhora 4 ■ Quem me dera 5 ■ Maria Joana 6 ■ Zabelê



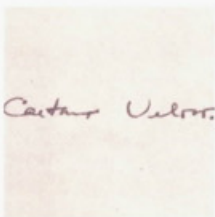
■CAETANO VELOSO (Philips, 1968)

A1 ■ Tropicália 2 ■ Clarice 3 ■ No dia em que eu vim-me embora 4 ■ Alegria, alegria 5 ■ Onde andará 6 ■ Anunciação B1 ■ Superbacana 2 ■ Paisagem útil 3 ■ Clara 4 ■ Soy loco por ti, América 5 ■ Ave Maria 6 ■ Eles



■TROPICÁLIA OU PANIS ET CIRCENSIS

Gil, Mutantes, Nara, Gal, (Phonogram, 1968) A1 ■ Miserere nobis 2 ■ Coração materno 3 ■ Panis et circensis 4 ■ Lin donéia 5 ■ Parque industrial 6 ■ Gelêia Geral B1 ■ Baby 2 ■ Três caravelas 3 ■ Enquanto seu lobo não vem 4 ■ Mamãe coragem 5 ■ Batmacumba 6 ■ Hino ao Senhor do Bomfim



■CAETANO VELOSO (Philips, 1969)

A1 ■ Irene 2 ■ The empty boat 3 ■ Marinheiro só 4 ■ Lost in the paradise 5 ■ Atrás do trio elétrico 6 ■ Os argonautas B1 ■ Carolina 2 ■ Cambalache 3 ■ Não identificado 4 ■ Chuvas de verão 5 ■ Acrílico 6 ■ Alfômega



■CAETANO VELOSO (Philips, 1971)

A1 ■ A little more blue 2 ■ London, London 3 ■ Maria Bethânia B1 ■ If you hold a stone 2 ■ Shoot me dead 3 ■ In the hot sun of a Christmas day 4 ■ Asa Branca



■ARAÇÁ AZUL (Philips, 1972)

A1 ■ Viola, meu bem 2 ■ De conversa 3 ■ Cravo e canela 4 ■ Tu me acostumaste 5 ■ Gilberto Misterioso 6 ■ De palavra em palavra 7 ■ De cara 8 ■ Eu quero essa mulher B1 ■ Sugar cane fields forever 2 ■ Júlia/Moreno 3 ■ Épico 4 ■ Araçá azul



■TRANSA (Philips, 1972)

A1 ■ You don't know me 2 ■ Nine out of ten 3 ■ Triste Bahia B1 ■ It's a long way 2 ■ Mora na filosofia 3 ■ Neolithic man 4 ■ Nostalgia-That's what rock'n roll is all about



■BARRA 69 Caetano e Gil (Phonogram, 1972)

A1 ■ Cinema Olimpia 2 ■ Frevo rasgado 3 ■ Superbacana 4 ■ Madalena B1 ■ Atrás do trio elétrico 2 ■ Domingo no parque 3 ■ Alegria, alegria 4 ■ Hino do Esporte Clube Bahia 5 ■ Aquele abraço



■Caetano e Chico JUNTOS E AO VIVO

(Phonogram, 1972) A1 ■ Bom conselho 2 ■ Partido alto 3 ■ Tropicália 4 ■ Morena dos olhos d'água 5 ■ Rita 6 ■ Esse cara 7 ■ Atrás da porta B1 ■ Você não entende nada 2 ■ Cotidiano 3 ■ Bárbara 4 ■ Janelas n°2 5 ■ Os argonautas



■TEMPORDA DE VERÃO AO VIVO NA BAHIA

Caetano, Gal, Gil. (Phonogram, 1974) A1 ■ Quem nasceu 2 ■ De noite nacama 3 ■ O Conteúdo 4 ■ Terremoto B1 ■ O relógio quebrou 2 ■ O sonho acabou 3 ■ Cantiga do sapo 4 ■ Acontece (Cartola) 5 ■ Felicidade



■QUALQUER COISA (Philips, 1975)

A1 ■ Qualquer coisa 2 ■ Da maior importância 3 ■ Samba e amor 4 ■ Madrugada e amor 5 ■ A tua presença morena 6 ■ Drume negrinha B1 ■ Jorge de Capadócia 2 ■ Eleanor rigby 3 ■ For no one 4 ■ Lady Madonna 5 ■ La flor de la canela 6 ■ Nicinha



■JÓIA (Philips, 1975)

A1 ■ Minha mulher 2 ■ Guá 3 ■ Pelos olhos 4 ■ Asa 5 ■ Lua, lua, lua 6 ■ Canto do povo de um lugar B1 ■ Pipoca moderna 2 ■ Jóia 3 ■ Help 4 ■ Gravidade 5 ■ Tudo tudo 6 ■ Na asa do vento 7 ■ Escapulário



■ **DOCES BÁRBAROS** (Polygram, 1976)
Caetano, Gal, Gil, Maria Bethânia

A1 ■ Os mais doces bárbaros 2 ■ Fé cega, faça amolada 3 ■ Atiraste uma pedra 4 ■ Pássaro proibi
B1 ■ Chuckberry fields forever 2 ■ Gênese 3 ■ Tarasca Guidon
C1 ■ Eu e ela estávamos ali encostados na parede 2 ■ Esotérico 3 ■ Eu te amo 4 ■ O seu amor 5 ■ Quando
D1 ■ Pé quente, cabeça fria 2 ■ Peixe 3 ■ Um índio 4 ■ São João Xangô menino 5 ■ Nós, por exemplo 6 ■ Os mais doces bárbaros



■ **MUITOS CARNAVAIS** (Philips, 1977)

A1 ■ Muitos carnavais 2 ■ Chuva, suor e cerveja 3 ■ A filha da Chiquita Bacana 4 ■ Deus e o diabo 5 ■ Piaba 6 ■ Hora da razão
B1 ■ Atrás do trio elétrico 2 ■ Um frevo novo 3 ■ Cara a cara 4 ■ La barca 5 ■ Qual é, baiana 6 ■ Guarde seu conselho



■ **BICHO** (Philips, 1977)

A1 ■ Odara 2 ■ Two naira fifty kobo 3 ■ Gente 4 ■ Olha o menino
B1 ■ Um índio 2 ■ A grande borboleta 3 ■ Tigresa 4 ■ O leãozinho 5 ■ Alguém cantando



■ **MUITO** (Philips, 1978)

A1 ■ Terra 2 ■ Tempo de estio 3 ■ Muito romântico 4 ■ Quem cochicha o rado espicha 5 ■ Eu sei que vou te amar
B1 ■ Muito 2 ■ Sampa 3 ■ Love love love 4 ■ Cá já 5 ■ São João, Xangô menino 6 ■ Eu te amo



■ **CINEMA TRANSCEDENTAL** (Polygram, 1979)

A1 ■ Lua de São Jorge 2 ■ Oração ao tempo 3 ■ Beleza Pura 4 ■ Menino do Rio 5 ■ Vampiro 6 ■ Elegia
B1 ■ Trilhos urbanos 2 ■ Louco por você 3 ■ Cajuina 4 ■ Aracajú 5 ■ Badaué 6 ■ Os meninos dançam



■ **BRASIL/João Gilberto, Caetano, Gil**

(Phnogram, 1981)

A1 ■ Aquarela do Brasil 2 ■ Disse alguém 3 ■ Bahia com H
B1 ■ No tabuleiro da Baiana 2 ■ Milagre 3 ■ Cordeiro de Maná



■ **OUTRAS PALAVRAS** (Polygram, 1981)

A1 ■ Outras palavras 2 ■ Gema 3 ■ Vera gata 4 ■ Lua e estrela 5 ■ Sim/não 6 ■ Nù com a minha música B1 ■ Rapte-me camaleão 2 ■ Dans mon ile 3 ■ Tem que ser você 4 ■ Blues 5 ■ Verdura 6 ■ Quero um baby seu 7 ■ Jeito de corpo



■ **CORES, NOMES** (Polygram, 1981)

A1 ■ Oueixa 2 ■ Ele me deu um beijo na boca 3 ■ Trem das cores 4 ■ Sete mil vezes 5 ■ Coqueiro de Itapoan 6 ■ Um canto de afoxé para o Bloco do Ilê B1 ■ Cavaleiro de Jorge 2 ■ Sina 3 ■ Meu bem, meu mal 4 ■ Gênese 5 ■ Sonhos 6 ■ Surpresa



■ **UNS** (Polygram, 1983)

A1 ■ Uns 2 ■ Musical 3 ■ Eclipse oculto 4 ■ Peter Gast 5 ■ Quero ir a Cuba 6 ■ Coisa mais linda
B1 ■ Você é linda 2 ■ Bobagens meu filho, bobagens 3 ■ A outra banda ba terra 4 ■ Sava vida 5 ■ É hoje



■ **VELÔ** (Polygram, 1984)

A1 ■ Podres poderes 2 ■ Pulsar 3 ■ Nine out of ten 4 ■ O homem velho 5 ■ Comeu 6 ■ Vivendo em paz
B1 ■ O quereres 2 ■ Grafitti 3 ■ Sorvete 4 ■ Shy moon 5 ■ Língua



■ **CAETANO VELOSO** (Nonesuch, 1986)

A1 ■ Trilhos urbanos 2 ■ O homem velho 3 ■ Luz do sol 4 ■ Cá já 5 ■ Medley: Dindi/Eu sei que vou te amar 6 ■ Medley: Naga maluca/Billie Jean/Eleanor rigby
B1 ■ Caração vagabundo 2 ■ PULsar 3 ■ Get out of town 4 ■ Saudosismo 5 ■ Odara 6 ■ Terra



■ **TOTALMENTE DEMAIS** (Polygram, 1986)

A1 ■ Vaca profana 2 ■ Oba-la-lá/Bim bom 3 ■ Nosso estranho amor 4 ■ Calúnia 5 ■ Nature Boy 6 ■ Estranha forma de vida 7 ■ Kalú B1 ■ Totalmente demais 2 ■ Pra que mentir 3 ■ Dom de iludir 4 ■ Solidão 5 ■ Cuesta abajo 6 ■ Todo o amor que houver nessa vida 7 ■ Amanhã



■ **CAETANO** (Polygram, 1987)

A1 ■ José 2 ■ Eu sou neguinha? 3 ■ Noite de hotel 4 ■ Depois que o ile passar 5 ■ Valsa de uma cidade
B1 ■ "Vamo" comer 2 ■ Canto do bola de neve 3 ■ Giulietta Masina 4 ■ O ciúme 5 ■ Fera ferida 6 ■ la omim bum



■ **MELHORES MOMENTOS de Chico e Caetano**

(Sigla, 1986)

A1 ■ Festa imodesta 2 ■ Billy Jean 3 ■ Roberto corta essa 4 ■ Adios Nonino 5 ■ Tiro de misericórdia
B1 ■ Não quero saber mais de la 2 ■ London, London 3 ■ Águas de março 4 ■ Sentimental 5 ■ Luz negra 6 ■ Merda



■ **ESTRANGEIRO** (Polygram, 1989)

1 ■ O Estrangeiro 2 ■ Rai das cores 3 ■ Branquinha 4 ■ Os outros românticos 5 ■ Jasper 6 ■ Este amor 7 ■ Ootro retrato 8 ■ Etc 9 ■ Capoeira larara (Meia lua inteira) 10 ■ Genipapo absoluto

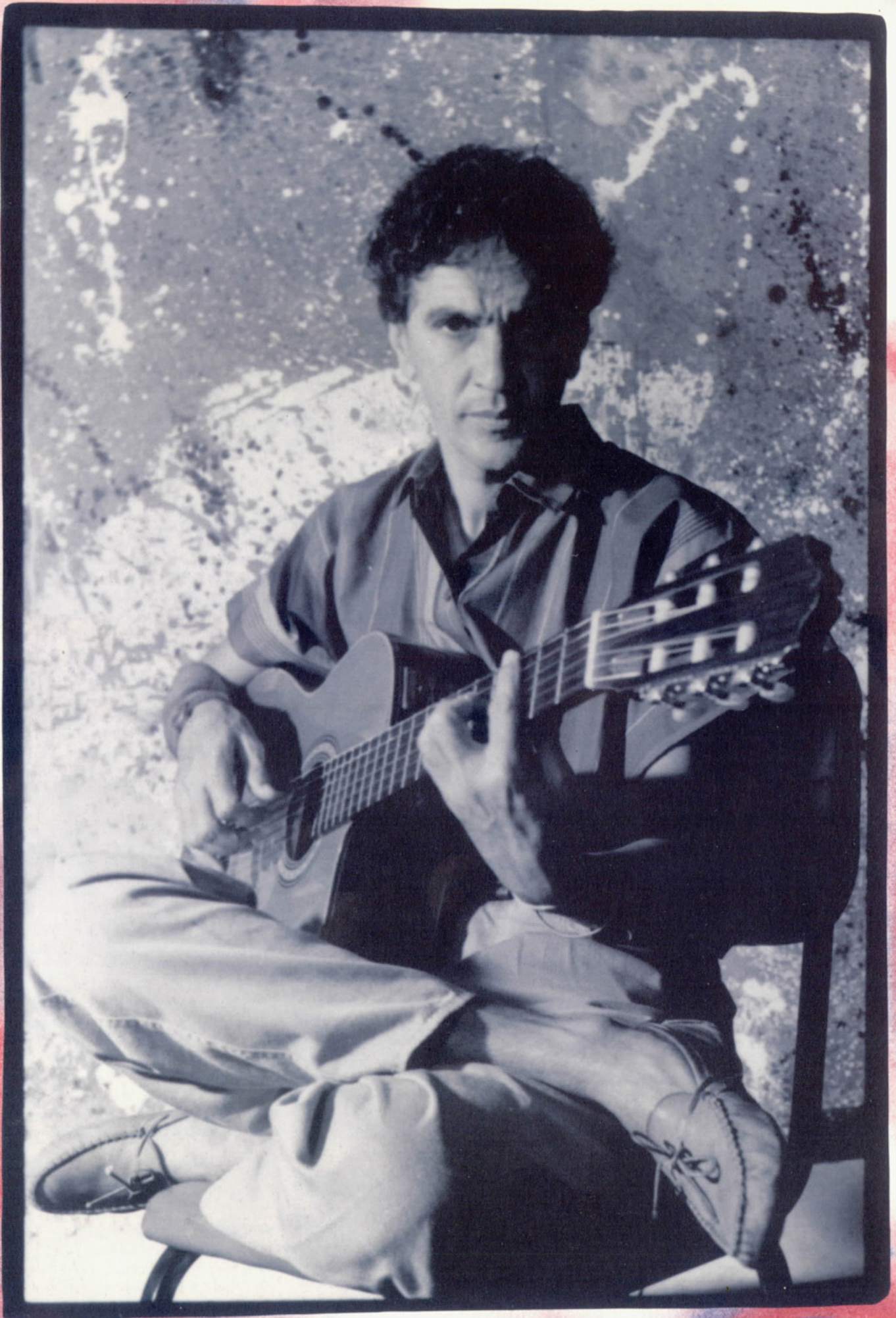






illustration: Toshiki Sawada from "PIA music complex"



Beleza Pura

(Cinema Transcendental '79)

Não me amarra dinheiro não
 Mas formosura dinheiro não
 A pele escura dinheiro não
 A carne dura dinheiro não
 Moça preta do curuzu
 Beleza pura federação
 Beleza pura boca do rio
 Beleza pura dinheiro não
 Quando essa preta começa a tratar do cabelo
 É de se olhar
 Toda a trama da trança a trança do cabelo
 Conchas do mar
 Ela manda buscar pra botar no cabelo
 Toda minúcia Toda delicia
 Não me amarra dinheiro não
 Mas elegância
 Não me amarra dinheiro não
 Mas a cultura dinheiro não
 A pele escura dinheiro não
 Moço lindo do Badauê
 Beleza pura do ilê-aiê
 Beleza pura dinheiro iê
 Beleza pura dinheiro não
 Dentro daquele turbante do filho de Ghândi
 É o que há
 Tudo é chique demais tudo é muito elegante
 Manda botar
 Fina palha da costa e que tudo se francee
 Todos os búzios Todos os ócios
 Não me amarra dinheiro não
 Mas os mistérios
 Não me amarra dinheiro não
 Beleza pura dinheiro não
 Beleza pura

tradução de p o e m a



～純な美～
 俺を縛りつけようとするのはやめてくれ
 金だって? とんでもない
 俺を縛りつけるのは、美だ
 金じゃない
 褐色の肌だ
 金じゃない
 硬いベッドだ
 金じゃない
 クルズの黒いネエチャンだ
 純な美だよ。お仲間衆
 純な美だよ。河口の眺めみたいな
 純な美だよ
 金じゃない
 あの黒いネエチャンが髪を結び始めるのは
 ちょっとした見物だぜ
 一本一本の細かい三つ編みが、まるで髪の毛のダンスのようで
 その髪につけたいから、貝殻を探ってきてくれて言うんだが
 ちょっとした細かいことなんだが
 それが何とも光ってるんだな
 俺を縛りつけるのは、金じゃない
 人の持つ優雅さってやつだ
 金じゃない
 文化ってやつだ

金じゃない
 褐色の肌だ
 金じゃない
 引き締まった肉体だ
 金じゃない
 バダウエーの美しい若者だ
 純な美だよ
 神が遣した
 純な美だよ
 金じゃない
 純な美だよ
 金じゃない
 ガンジーの息子のターバンに隠されているものが
 どんだけシックか、どんだけ優雅か
 細い細い一本の髪で
 すべての古い貝を
 すべての休息のときを
 編み込んでいくんだよ
 俺を縛りつけるのは、金じゃない
 この世の不思議だ
 金じゃない
 純な美だよ
 金じゃない
 純な美だよ

Alegria, Alegria

(Caetano Veloso '68)

Caminhando contra o vento Sem lenço sem sem documento
No sol de quase dezembro Eu vou
O sol se reparte em crimes Espasmos guerrilhas
Em Cardinales bonitas Eu vou
Em corpos de presidentes Em grandes beijos de amor
Em dentes pernas bandiras Bomba e Brigitte Bardot
O sol nas bancas de revista Me enche de alegria e preguiça
Quem lê tanta notícia Eu vou
Por entre filhos e nomes Os olhos cheios de cores
O peito cheio de amo-res vão Eu vou
Por que não? Por que não?
Ela pensa em casamento E eu nunca mais fui à escola
Sem lenço sem documento Eu vou
Eu tomo uma coca-cola Ela pensa em casamento
E uma canção me consola Eu vou
Por entre fatos e nomes Sem livros e sem fuil
Sem fome sem telefone No coração do Brasil
Ela nem sabe até pensei Em cantar na televisão
O sol é tão bonito Eu vou
Sem lenço sem documento Nada no bolso ou nas mãos
Eu quero seguir vivendo amor Eu vou
Por que não? Por que não? Por que não?
Por que não? Por que não? Por que não?

～遊び～

何の旗印も掲げず、何の思想に傾くこともなく
真夏の光の中を
ただ風に逆らい歩く
太陽は
犯罪の上にも、宇宙船の上にも、ゲリラの上にも
美しい女たちの上にも
平等に降り注ぐのだ
幾人もの権力者たちの間を縫い
偉大なる愛の数々を経て
剥き出しの歯を、剥き出しの足を、「正義」の旗を
爆弾を、ブリジット・バルドーを縫い
僕は歩く
街角の新聞スタンドを染める太陽に
思わず心を襲う愉悦と怠惰
溢れているのは、一体誰のためのニュースだろうか
数々の写真と、様々な名前と
色彩を一杯に湛えた幾対もの瞳と
虚ろな愛の巣くう何枚もの胸の間を縫い
僕は行く
だが、なぜそうであってはいけない?
行かない理由などあるだろうか?
彼女はケッコンを考えているのだが
僕は素手で丸腰で
もう学校に通うのはやめてしまった
素知らぬふりの僕、ケッコンを夢見る彼女
慰めをもたらすあの歌
数々の写真と、様々な名前の間を
僕はかき分け、歩く
本も持たず、銃も持たずに
餓えも知らず、文明とも縁を持たずに
このブラジルの真ん中を
彼女は想像もつきはしない
僕がテレビに出演しようと思ったことがあるのを
太陽はまさに美だ
何の旗印も掲げず、何の思想に傾くこともなく
僕は歩いて行く
ポケットは空だ
両手は空だ
だが、僕は愛を追い続けたい
愛を追い続けるのだ
なぜそうであってはいけない?
そうしない理由などあるだろうか?



Um índio ('picho' '77)

Um índio descerá de uma estrela colorida brilhante
De uma estrela que virá numa velocidade estonteante
E pousará no coração do hemisfério sul na América num claro instante
Depois de exterminada a última nação indígena
E o espírito dos pássaros das fontes de água límpida
Mais avançado que a mais avançada das avançadas das tecnologias
Virá impávido que nem Mahamed Ali
Virá que eu vi Apaixonadamente como Peri
Virá que eu vi Tranquilo e infalível como Bruce Lee
Virá que eu vi O axé do Afôxé Filhos de Gandhi
Virá Um índio preservado em pleno corpo físico
Em todo sólido, todo gás e todo líquido
Em âtomos, palavras, alma, cor, em gesto, em cheiro, em sombra, em luz, em sem magnífico
Num ponto equidistante entre o Atlântico e o Pacífico
Do objeto sim resplandecente descerá o índio
E as coisas que eu sei que ele dirá, fará, não sei dizem assim de um modo explícito

Virá E aquilo que nesse momento se revelará aos povos
Surpreenderá a todos não por ser exótico
Mas pela falta de poder ter sempre estado oculto quando terá sido o óbvio

～インチョ～

七色に明るく光る星から
インチョが降りてくる
星はまばたきするよりも早い速度で近づき
光とともに南半球アメリカ大陸の中心部に着陸するのだ
最後の原住民部族がこの世から抹殺された後に
澄んだ水を湛える泉に棲む鳥たちの魂が
最も先端を行人先進技術よりも進んだ後らの魂が
モハメッド・アリのごとく勇気を持って
この世に降り立つ
やって来るのだ、私は見たのだから
ペリーのごとく心を奮わせて
やって来るのだ、私は見たのだから
ブルース・リーのように冷静かつ絶対確実に
やって来るのだ、私は見たのだから
やって来るのだ
バイーアの黒き民の信仰の源が
やって来るのだ
完全なる肉体を失っていないインチョが
すべての固体、気体、液体を
あるべく備えた肉体を持つインチョが
原子を、言葉を、魂を、色彩を、
動きを、匂いを、影を、光を、壮大な音を
あるべく備えたインチョが
大西洋と太平洋との中間点へ
一際輝くその物体から
降りてくるのだ
知ってはいるのだが、言葉で表わすことのできない事柄を
彼は語る、行うのだ
モハメッド・アリのごとく勇気を持って
この世に降り立つ
やって来るのだ、私は見たのだから
ペリーのごとく心を奮わせて
やって来るのだ、私は見たのだから
ブルース・リーのように冷静かつ絶対確実に
やって来るのだ、私は見たのだから
やって来るのだ
バイーアの黒き民の信仰の源が
やって来るのだ
そしてその時明らかにされるだろう事実は
人々を驚かすに違いない
その特異性ゆえには
明白でなければならぬ時には
常に隠されているものであるというゆえに



Um fresco Verão-
Eu Quero Oferecer a Minha Música para Você

O Leãozinho

(BICHO '77)

Gosto muito de te ver, leãozinho
 Caminando sob o sol
 Gosto muito de você, leãozinho
 Para desentristecer, leãozinho
 O meu coração tão só
 Basta eu encontrar você no caminho
 Um filhote de leão, raios da manhã
 Arrastando o meu olhar como imã
 O meu coração é o sol pai de toda a cor
 Quando ele lhe doura a pele ao leão
 Gosto de te ver ao sol, leãozinho
 De te ver entrar no mar
 Tua pele, tua luz, tua juba
 Gosto de ficar ao sol,
 leãozinho De molhar minha juba
 De estar perto de você e entrar numa



～ライオン君～
 ライオン君
 日の光を浴びて歩く君はとてもすてきだ
 ライオン君
 君がとても好きだよ
 僕の孤独な心を慰めてくれるからね
 道端で、君に出会うだけでいいんだ
 ライオンのチビ君
 朝日の中
 僕の視線は磁石で導かれるかのよう
 僕の心は太陽
 すべての色彩の父だ
 真夏の太陽が肌を黄金色に焼く時
 ライオン君
 陽のあたる君はとてもすてきだよ
 海に入る君はとてもすてきだよ
 君の肌、君の光、君のたてがみ
 僕も太陽が好きさ
 たてがみを濡らすのも好きさ
 君のそばにいて、熱い愛を交わすのも
 好きさ

Você é Linda

(UNS '83)

Fonte do mal
 Nuns olhos de gueixa
 Kabuki, máscara
 Choque entre o azul
 E o cacho de acácias
 Luz das acácias
 Você é mãe do sol
 Asua coisa é toda tão certa
 Beleza esperta.
 Você me deixa a rua deserta
 Quando atravessa
 Então olha pra trás

* { Você é linda
 E sabe viver
 Você me faz feliz
 Esta canção é só pra dizer
 E diz
 Você é linda
 Mais que demais
 Você é linda sim
 Onda do mar do amor
 Que bateu em mim

Você é forte
 Desentes e músculos
 Peitos e lábios
 Você é forte
 Letras e músicas
 Todas as músicas
 Que ainda hei de ouvir
 No Abaeté
 Areias e estrelas
 Não são mais belas
 Do que Você
 Mulher das estrelas
 Mina do estrelas
 Diga o que Você quer

(+ bis)

Gosto de ver
 Você no seu ritmo
 Dona do carnaval
 Gosto de ter
 Sentir seu estilo
 Ir no seu íntimo
 Nunca me faça mal

Linda
 Mais que demais
 Você é linda sim
 Onda do mar do amor
 Que bateu em mim
 Você é linda
 E sabe viver
 Você me faz feliz
 Esta canção é só pra dizer
 E diz



～君は美しい～
 ゲイシャの瞳に隠された蜜の泉
 カブキの面
 青との衝突、アカシアの枝
 アカシアの光、君は太陽の母
 君のすべては確実、狡猾な美
 君の前に、僕はまるで人気のない街路
 君は僕を横切り、後ろを振り向かない
 美しい、生きることを知っているのだね
 君は僕を幸福にしてくれる
 この歌は、告げたいし、告げるのだ
 君は美しい、と
 美しすぎる以上に美しい、と
 愛の海が、僕に波を寄せてきた
 君は強い、その歯と筋肉と
 胸と唇
 君は強い。葉子とメロディー
 君は、僕が耳を傾けるべき音楽なのだ
 アバエターで輝く砂と星々ですら
 君ほどの美しさは持つまい
 君、宇宙の女
 僕の宇宙の女
 何が欲しい？
 君は美しく、生きるすべてを知っている
 マイペースの君を見るのが好きだよ
 お祭りの主人公になった君が好きだよ
 君のスタイルを感じていたい
 君の内面の奥深くに触れていたい
 僕を突き放さないでくれ
 君は美しすぎる以上に、美しい

Os Outros Românticos

(ESTRANGEIRO '89)

Eram os outros românticos, no escuro
Cultuavam outra idade média situada no futuro
Não no passado
Sendo incapazes de acompanhar
A boba Babel de economias
As mil teorias da economia
Recitadas na televisão
Tais irreduzíveis ateus
Simularam uma religião
E o espírito era o sexo de Pixote então
Na voz de algum cantor de rock alemão
Com o ódio aos que mataram Pixote a mão
Nutriam o rebeldia e a revolução

E os trinta milhões de meninos abandonados do Brasil
Com seus peitos crescendo, seus pauz crescendo
E seus primeiros menstruaos
Compunham as visões dos seus vitrais
E seus apocalipses mais totais
E seus utopias radicais
Anjos sobre Berlin
"O mundo desde o fim" *
E no entanto era um SIM
E foi e era e é e será sim

(They were the other romantics, in darkness
They made a cult of another middle age
Located in the future not in the past
Being incapable of following
The blah bubble of economics recited on television
These irreducible atheists
Simulated a religion
And the Spirit was the sex of Pixote
In the voice of some German rock singer
With hatred for those who killed Pixote by hand
They nurtured rebellion and revolution
And the thirty million abandoned kids of Brazil
With their most complete apocalipses
Their first menstruations
Composed the visions in their stainglass windows
And their most complete apocalipses
And their radical utopias
Angels over Berlin
The world since the end
And all the while it was a YES
It has been, it was, it is, and will be YES)**

* Antônio Cicero - Luciano Figueiredo - Kkhlebnikov
** Tradução de Arto Lindsey

～その他のロマンティスト～

暗闇で、その他のロマンティストが集い、
中世の時代を信仰していた。
過去にあった中世ではなく、
未来に生まれるとされる中世の時代を。
テレビで朗読される、
ちゃんちゃらおかしい経済理論の数々など
とても理解することなどできない彼らは、
もはや後戻りのできない無神論者
彼らは、宗教のシミュレーションを行った
聖霊とされたのは、ピショットのセックス
聖歌は、朗々とドイツ・ロック歌手により歌われ、
手を下してピショットを殺害した者への憎悪をもって
彼らは反逆と革命を暖めていた。
そして、ブラジルにおける三千万の浮浪児たち
彼女らの胸が脹らみ、彼らのペニス成長する。
初潮が、彼らのスタンド・グラスを、
最も完璧な黙示録を、
過激な理想郷を、染め上げる。
ベルリンの天使
「終末から見た世界」
しかし、そこで聞かれたのは、
はっきりとした「イエス」だった
過去を通して現在も、そして未来もそうあり続けるのだ

Branquinha

(ESTRANGEIRO '89)

Eu sou apenas um velho baiano
Um fulano, um caetano, um mano qualquer
Vou contra a via, casto contra a melodia,
Nado contra a maré
Que é que tu vé, que é que tu quer,
Tu que é tão rainha?
Branquinha
Carioca de luz própria, luz
Só minha
Quando todos os seus rosas nus
Todinha
Carnação dá canção que compus
Quem conduz
Vem, seduz
Este mulato franzino, menino
Destino de nunca ser homem não
Este macaco complexo
Este sexo equívoco
Este mico-leão
Namorando o lua e repetindo:
A lua é minha
Branquinha
Parotoquinha, guerreiro é
Rainha
De janeiro, do rio, do onde é
Sozinha
Mão no leme, pé no furacão
Mau irmão
Neste mundo vão

Mão no leme, pé no carnaval
Mau igual
Neste mundo mau.

～白の少女～

僕はただの、年老いたバイアーノだ
名無しの、カエターノとかいう名の、
その辺にいくらでもいるオッサンだ
ものの流れに逆らいつつ、
メロディーに逆らい歌いつつ
潮に逆らって泳ぐ。
君の目には、何が映る？君は一体何を望む？
まるで女王さまのような君
白の少女
自ら光り輝くカリオカの君
僕だけのもの
君のバラが、衣服を脱ぎ捨てるとき
全部、僕のもの
僕の作った歌が肉体を得る
導く音
さあ、誘惑しろ
この薄っぺらで、少年じみたムラートを
決して男にはなれない、その運命
この複雑怪奇な猿を
この曖昧な性を
このライオンザルを
月に恋し、繰り返す
月は僕のものだ
真っ白だ
ポロロッカだ、戦士だ、と。
戦士は、女王さま
一月の河のどこのそこの
独りきりの君
舵を取る母、嵐を巻き起こす足
君は、僕の兄弟
この虚しい世界でただ一人の
舵を取る母、嵐を巻き起こす足
君は、悪
この悪意に満ちた世界でただ一人の



LATINA

■定価 460円
■毎月20日発売

ラティーナ 世界の音楽情報誌

BRASIL, CARIBE, AFRICA, ASIA.....

音楽の宝庫ブラジル、カリブ、アフリカ、アジア、USA、ヨーロッパ.....
世界からのホットな最新音楽情報誌

〒150 東京都渋谷区恵比寿1-13-6
中南米音楽
☎03(446)1225



南米の旅は、おまかせください。

SOUTH



AMERICA

☐ KINJYO TRAVEL SERVICE ☐

株金城旅行社
創業1948年 国際航空輸送協会公認

東京オフィス ● 〒150 東京都渋谷区代官山町16-2 TEL:03-463-6311/FAX:03-496-3548/TELEX:2424982 KTSTYO J
Lima Office ● Plaza San Martin 971, Lima, PERU TEL:276760/FAX:33-7336/TELEX:36-25502 PE KINJYO
Cuzco Office ● Calle Ayacucho 198, office 5, Cuzco, PERU TEL:231101/TELEX:36-52018 PE KINJYO

PHILIPS



プロフェッショナル文化の源流
バイアスからの熱波。

閃光がはざる/ MPB界の尖端にたたずむ哲学詩人の感性。



エストランジェイロ カエターノ・ヴェローゾ

●PPD-1069 ¥2,627(税込)

時代を予知するインテリ、カエターノの知性の結晶/ 名作「フェラ・フェリーダ」より2年ぶりに発表された新作は、ロック・シーンでも脚光を浴びているアンビシャス・ラバースこと、アート・リンセイとピーター・シェラーがプロデュースを手掛けた強力盤。

デヴィット・バーンが注目するMPB界の異才/ 変革は彼から始まった。



フェラ・フェリーダ カエターノ・ヴェローゾ

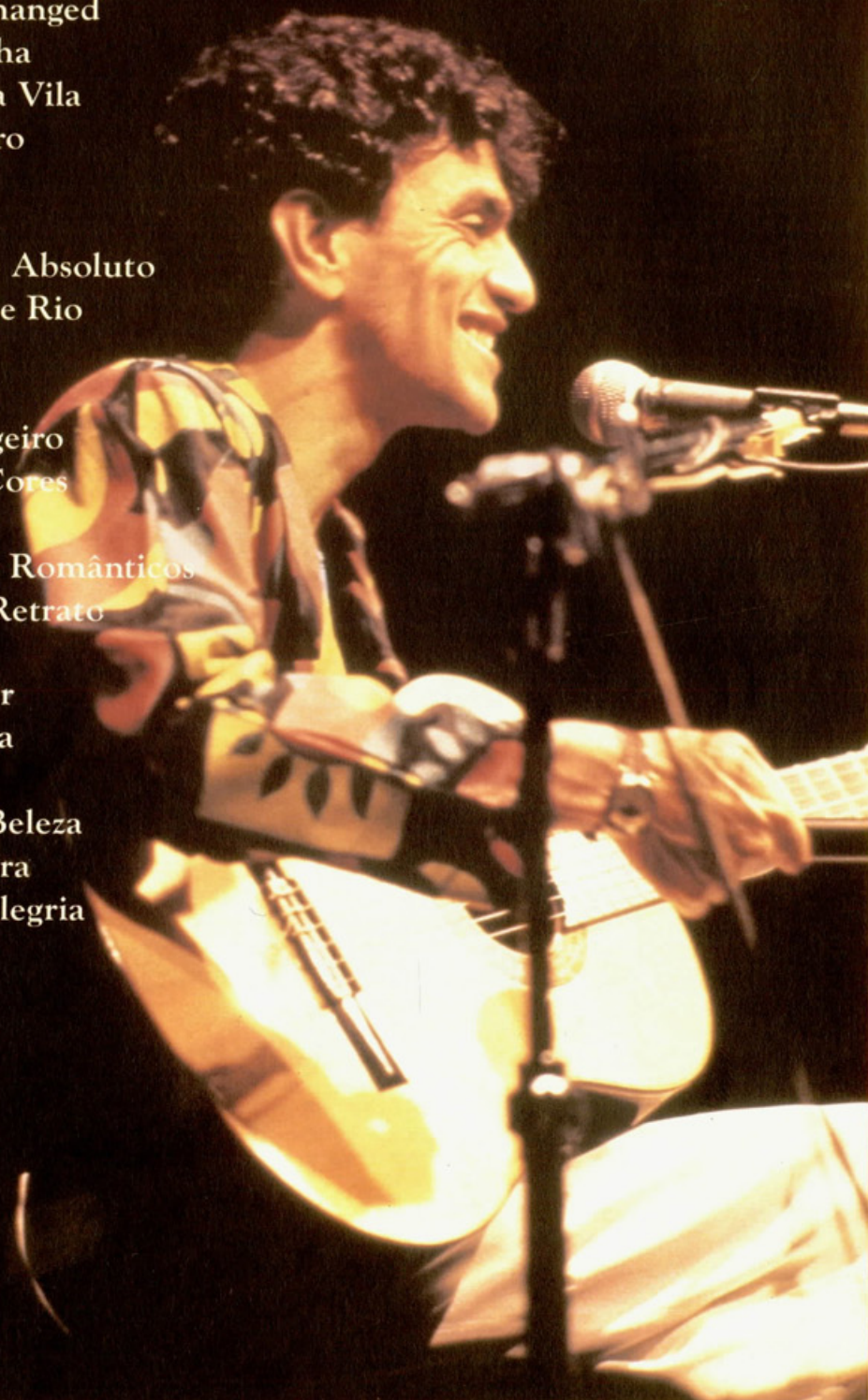
●PPD-1042 ¥2,627(税込)

傑出したソング・ライターとしてMPB界(ブラジル音楽)をリードしているカエターノ・ヴェローゾ。時に優しく、時にラジカルに.....自由な精神でユニバーサルな音楽作りを目指す彼の思想が買められた傑作アルバム。

発売元 ☐ 日本フォノグラム株式会社

ROTEIRO MUSICAL:

Meia Lua Inteira
You've Changed
Branquinha
Feitiço Da Vila
O Vampiro
Sonhos
Um índio
Genipapo Absoluto
Menino de Rio
ETC
Cajuina
O Estrangeiro
Rai Das Cores
Pétala
Os outros Românticos
O outro Retrato
Ilê Aiê
Este Amor
Salva-Vida
Jasper
Brilho e Beleza
Beleza Pura
Alegria Alegria



Muito Obrigado



MUSICIAN

- CAETANO VELOSO-----Vocal
- RICARD CRISTALDI-----Keyboard
- TONI COSTA-----Guitar
- TAVINHO FIALHO-----Bass
- CESINHA(Nilton Cezar)-----Drums
- CARLINHOS BROWN-----Percussion

STAFF

- Produce/Manuel Marinho
- P.A./Wagner Baldinato
- Lighting/Ivanildo Alexandre Marques
- Musical Instruments/Wellington Soares
- Paula Mafra Lavigne, Guilherme Araújo
- Stage Director/Mitsuyoshi Inoue
- P.A./Acoustic
- Lighting/Lightwave
- Musical Instruments/Leo Music
- Planning & Produce/Hilife International



EDITORIAL WORKS/HILIFE, office MCAI Bros.
 ART WORKS/office MCAI Bros.
 A.D./Norihiro Mukai
 ILLUSTRATION/Toshiki Sawada
 PRINTED by JYOH KIKAKU PRINTING CO., LTD.
 PRODUCED by HILIFE International





HIGHLIFE
INTERNATIONAL

2-5-20 KAMIOSAKI SHINAGAWA-KU TOKYO. 141 JAPAN PHONE:03-442-0811 FAX:03-447-4495 TELEX:J23286 HIGHLIFE